

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3 年 10 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービスだんらん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動ごとにスペースを分けている	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準より多く配置	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内バリアフリー	外のテラスと地面までに段差があるため、踏み台を用いて対応
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月に1度振り返りの時間を設けています	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1度実施	昨年改善できなかった事を重点的に改善に繋げるように努めていく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年に1度実施	ホームページに掲載
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、外部評価を取り入れていけるように検討していく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		コロナ禍で外部研修が中止になっていることが多いがリモートにて参加
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		職員全体でケース会議を行い計画を作成	計画の評価が保護者様に分かりやすいように行う必要
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメント、記録を作成	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全体でプログラムを作成	プログラムが固定化しない様に工夫していく必要あり
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		体験活動等を取り入れ固定化しない様にしています	コロナ禍で外出や体験活動が実施できていないため、工夫した活動内容の提供、個別対応等で行っていく必要あり
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用児にあった課題を提供	課題が固定化しない様に工夫を行う必要あり
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者からの情報提供頂き、利用児に合った計画を行っています	利用児に合わせて作成
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ケース会議にて話し合いの場を設けています	役割分担を行い仕事に入る前に確認を行っている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		申し送りにて情報の共有を行っています	その都度打ち合わせを行っている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日実施	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1度実施	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		利用児に合った活動を定期的に見直しています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画している	○		児童発達支援管 理責任者が参加	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切 に行っている	○		学校の行事を把 握し対応	学習発表会、運動会前などは活動内容を変更し 対応
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報 共有と相互理解に努めている		○		保護者からの希望がある場合行っているが 、今後情報の共有を行っていけるように努めてい く
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等している		○		今年度、卒業生がいるため、保護者に了解 を得て情報の提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ている	○		他事業所、ゆうゆ うセンター等の助 言をいただしてい ます	今後は精神科HP等の助言等も検討していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会がある		○		関わりがないため、地域の行事等で交流が 出来るように努めていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いる		○		今年度はコロナウイルスの感染予防の為、 不参加
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	○		連絡帳、送迎だ けでなく電話にて 対応	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援を 行っている		○		実施できていない。実施できるように検討していく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っている	○		契約時に実施	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時受け付けて います	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いる		○		今年度はコロナウイルスの感染予防の為、 実施できていない。今年度、コロナウイルスの状 況を把握し実施していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ている	○		苦情解決窓口を 設置しており、契 約時に説明してい ます	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信している	○		年に2回法人の 広報誌を発行し ています	ホームページにも掲載
	35	個人情報に十分注意している	○		保護者さんに同 意書を頂き、書庫 にて管理していま す	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている			構造化を行い色 分け、物の配置な ど視覚化し配慮し ています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている		○		月に1度、地域カフェや年に1度作品展等を 行っていたが今年度はコロナウイルス感染予防 の為、中止

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルはあるが保護者様にまで周知徹底ができていないため、今後周知できるように努めていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1度実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明しています	身体拘束を行うようなケースはないが、身体拘束を行った場合、保護者様へ報告、記録を行うように徹底していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師の指示を受けるような対象の利用児はいません
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		発生した場合作成	